

10月の給食だより

令和3年度 10月

富士宮市立学校給食センター

食品ロスについて考えよう

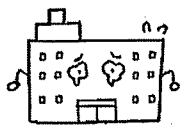
「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年10月1日に施行され、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」となりました。この機会に、食品ロスについて考えてみましょう。

日本の1年間の食品ロス

約600万トン!

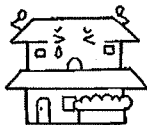
日本の食品ロスは1年間で約600万トン(平成30年度推計値)です。日本は多くの食べ物を外国から輸入していますが、その一方で、大量の食べ物を捨てているのです。

食品メーカー
などの食品ロス



約324万トン

家庭の
食品ロス



約276万トン

世界の食糧援助量よりも多い!

2019年の世界の食糧援助量は420万トンでした。日本では、世界の食糧援助量よりも多い食べ物が捨てられています。

食品ロスとは

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを食品ロスといいます。食品ロスには、売れ残りや期限が切れたもの、調理の時の皮のむきすぎ、食べ残しなどがあります。

へらすために

自分でできること
から始めよう

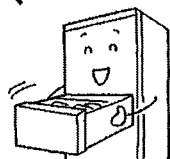
残さず食べよう



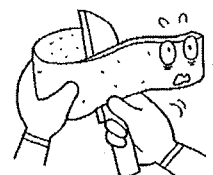
工夫して食材を
使い切ろう



買い物の前に食品
の在庫を確認!
むだなく
買おう



食材の「捨てすぎ」
に注意しよう



大切です朝ごはん!

朝食をよくかんで食べよう

よくかんで食べ物が胃に送られると、腸が動き始めて朝の排便につながったり、脳の血流量が増加して脳の働きを高めたりするといわれています。よくかんで食べましょう。



かむことで目が
覚めてスッキリ
してくるよ!



※学校給食の放射性物質検査の結果については、富士宮市のホームページに掲載しています。